

第（ 2 ）分科会（北九州，福岡，筑後，筑豊，特別支援，定通部）

テーマ「食事を通じた家族のコミュニケーションについて」

| | 氏 名 | 所属校名 |
|--|-----|------|
|--|-----|------|

助 言 者

発 表 者

司 会 者

記 録 者 杉本 真由美

松尾 直哉

永吉 秀樹

梶木 俊文 中間高校（教頭）

筑紫丘高校（教諭）

玄洋高校（主幹教諭）

新宮高校（指導教諭）

<概 要>

1 研究体制について

梶木 俊文 （新宮高校）

永野 義弘 （福岡農業高校）

永吉 秀樹 （玄洋高校）

松尾 直哉 （筑紫丘高校）

2 研究テーマについて 生徒の食事の個食化が進むことで、食事を通じた家族のコミュニケーション

3 研究方法について アンケート調査を福岡地区の県立・公立・町立の高校に対して行い、生徒

4 アンケート調査項目について アンケートは、生徒の食事の実態を捉えるために、「朝食について」、「

また、「食事全般について」のアンケート項目を設け、「朝食、夕食について」のアンケート項目

<協議内容>

(問)

- ①食事に関する家族のコミュニケーションの必要性をどのように示すか？
- ②他校の取り組みの参考はあらかじめ調査はしてあるのか？
- ③アンケートの参考にしたベースはあるのか？

(答)

- ①アンケートのクロス集計により家族のコミュニケーションの必要性を示す
- ②正式な調査はしていない。
- ③他県の市町村のものを一部参考にさせていただいた。最終的には明示する。

(問)

- ①孤食から個食への変化についても考えてほしい。
- ②アンケートの質問項目に「部活動の有無」「昼食は弁当か？」を加えてほしい。
- ③料理をしますか？という問いに対してインスタント食品を作ることも入るか？

(答)

- ①今回は一緒にご飯を食べているかに焦点を絞らせていただきたい。

- ②③アンケート内容に関しては今後、再考させていただく。

<指導助言>杉本教頭先生（中間高校）

「こしょく」と相対する言葉は「共食」である。「共食」には一緒に同じものを食べるという意味が

「共食」は子どもの健全な心身の基盤であり、マナーや挨拶等の習慣作り、人間関係の上手な作り方

様々な家庭状況の中、「共食」の場面を持つことは難しいが、望ましい家族の価値観を学校が伝えて

学習指導要領にも食育という言葉が取り入れられている。最終的に生徒が将来、何を誰とどのよう

<今後の課題>

アンケート内容を再考し、保護者に対して、「食事を通じた家族のコミュニケーション」の必要性を

